

F D研修会 「大学における『T A研修』のあり方に関する講演会」

1. 目的 カリフォルニア大学バークレー校では、I Tとティーチング・アシスタントをフルに活用した先進的授業を行っており、この授業を強力に支援している同校の大学院インストラクターセンターはティーチング・アシスタント研修に関してアメリカで最も進んでいると言われている。

本講演会では、カリフォルニア大学バークレー校でのティーチング・アシスタントの活用や研修の実践例、国内外のT A研修の実情などを紹介することにより、本学におけるT A活用の向上を図る。

2. 主催 筑波大学 F D委員会

3. 日時・場所 平成 19 年 11 月 30 日（金） 14：30～17：00 大学会館国際会議室

4. プログラム

14:30～14:35 (5分) 挨拶 教育担当副学長 工藤典雄

14:40～15:40 (60分) 講演

カリフォルニア大学バークレー校 GSIティーチング&リソースセンター長

リンダ・フォン・ヘーネ博士

『カリフォルニア大学バークレー校におけるティーチング・アシスタントの役割と研修』

【解説】 G S Iとは Graduate Student Instructor（大学院生講師）で、日本のT Aに近い。北米の、多数の優秀な大学院生を擁する研究大学では院生に大学教育に積極的に参加させ、専門的分野における優れたコミュニケーション能力を持った人材養成に役立てている。バークレーはその代表格の大学である。多くの研究大学では博士課程修了者の就職支援の一環として積極的にティーチング教育に乗り出している。

15:40～16:40 (60分) 講演

北海道教育大学（函館校） 宇田川拓雄教授

『大学院教育におけるティーチング・アシスタント研修の意味』

【解説】 これまで日本の大学では大学教員の主要な仕事の一つであるはずの「ティーチング」の価値、方法、効果、効率はほとんど研究者の関心の外にあったと言ってもよい。今回、ヘーネ先生を日本にお呼びした北大の高等教育センターを中心とする研究グループは、T A研修が研究とティーチングの双方に優れた人材を養成するシステムの一部になりうることに気づき、北米の先進大学に学び、成果をあげてきた。日本の大学で来年度から義務化されるF D研修もこのような方向を示すものと考えられる。

16:40～17:00 (20分) 質疑応答